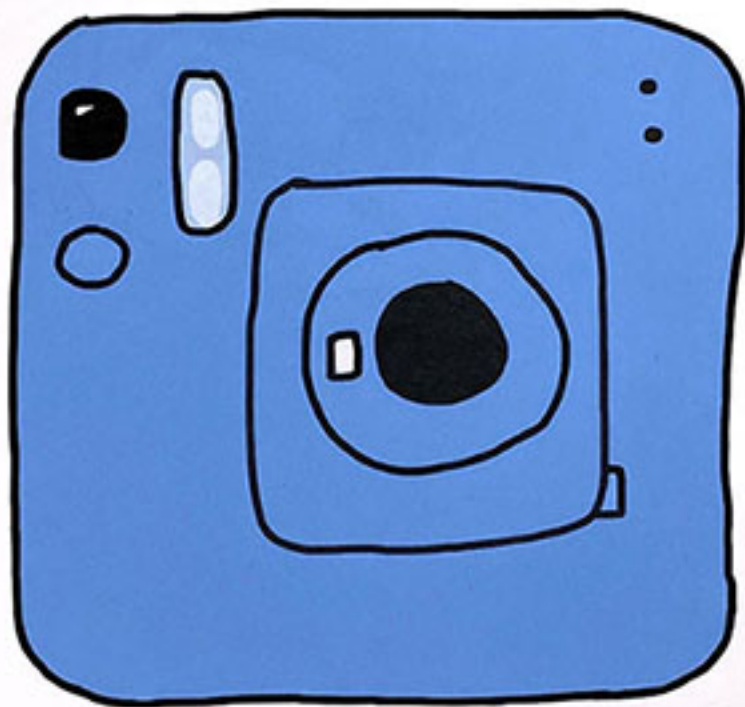


# カメラが教えてくれたこと



カメラが教えてくれたこと







せりなは海にもぐって  
色々な生き物をみることが  
好きです。  
そして見たものをカメラで  
撮ることも好きです。







ある日、石垣島の海に  
もぐっていると、  
手が滑ってしまい、カメラを  
落としてしまいました。







急いで探し始めましたが、  
魚の群れが目の前を通り  
見失ってしまいました。





数日が経ち、砂浜に  
流れてきているのではないか  
と思ったせりなは、近くを歩  
いている人に  
声をかけて回りました。  
ですが、カメウを  
見かけた人は誰も  
居ませんでした。





あれから2年が経ち、  
カメラを探すことを  
諦めていたとき  
友達がスマホを  
見せてきました  
そこにはカメラの  
落とし物についての  
書き込みが  
映っていました。





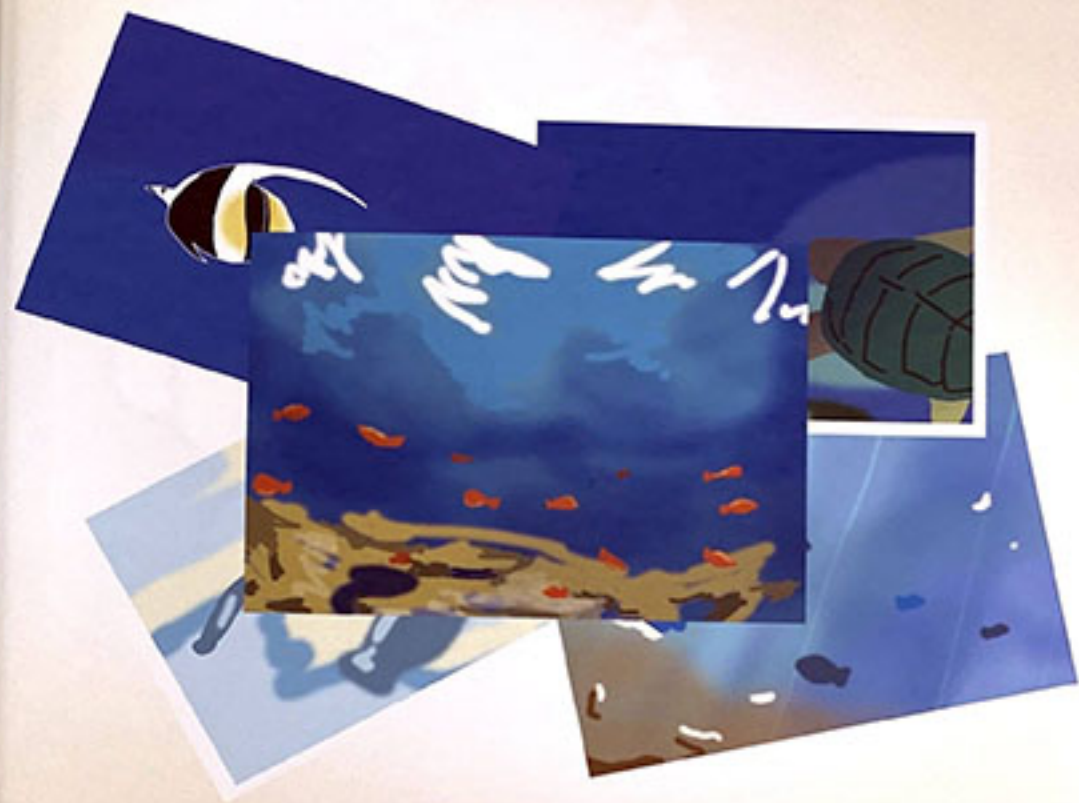


カメラは台湾で見つけました。  
小学生がクラスで海のゴミ拾いを  
しているときに  
偶然みつけたのです。





カメラに残っていた  
データを担任の先生が  
見てみると、  
石垣島の写真が  
たくさん入っていました。





それを見た担任の  
先生は④本人の  
カメラだと考え、  
インターネットに  
落とし物についての  
書き込みを  
投稿しました。





それを知ったせりなは  
嬉しくなり、すぐに  
学校へ連絡し、カメラを  
受け取りに行くことに  
しました。





せりなは何時間もかけて  
台湾へ足を運びました。





さっそく小学校へ行くと、  
生徒たちがニコニして  
待っていてくれました。





海でみつけたカメラを  
受け取ると、中身を  
確認しました。  
2年以上も海を  
漂っていたのに、  
綺麗に残っていて  
せりなは嬉しくなりました。





もう見つからないと  
思っていたカメラが  
海を越えて、

いろいろな人の協力によって  
自分の元へ返ってきたこと、  
話す言葉も違う、会った事も  
ない自分にこんなにも優しく  
してくれた台湾の人々の  
温かさにはりなは  
感動しました。







カメウを受け取った後は、  
カメウを拾ってくれた  
子どもたちと  
交流を深めるという意味を込めて  
海の掃除をしました。





こうして日本、沖縄と  
台湾の関係はまた一歩  
深まりました。





